

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限のガイドライン における対応レベルの引き上げについて

【ご意見・ご要望】(投稿日:2021年8月18日)

今年4月から6月にかけての京都府に対する緊急事態宣言の発令の際にも何度もご意見を述べさせていただきましたが、対応レベルの引き上げを直ちに撤回していただきますようお願いいたします。

前回は述べたように、学生の学びの機会の確保のためには、オンライン授業は極めて不十分であり、今回の決定は、学生の学ぶ権利をないがしろにするものです。現在、夏季休業中であるといえども、この期間に予定されていた活動等もありますし、この状況が仮に10月まで維持されるとすれば、再び多くの学生から学びの機会を奪うことになり、大学というものの存在意義が失われることになりかねません。

そもそも、緊急事態宣言が発令されたからといって直ちにガイドラインの対応レベルの引き上げをすることは、本当に妥当でしょうか。緊急事態宣言に効果があるのかも疑問視される現在の状況で、緊急事態宣言にただ従うというのは、大学として思考放棄をしていると言わざるを得ません。

今年4月から6月にかけての失われた2ヶ月の悲劇を繰り返さないことをお願い申し上げておりましたが、その反省をなぜ活かさないのでしょうか。何度同じ失敗を繰り返すのでしょうか。

京都大学の対応にはうんざりです。失望しました。どうか、これ以上学生を悲しませないでください。

【回答】(回答日:2021年8月31日)

(回答部署:総務部企画管理主幹付リスク管理掛)

8月20日より、本学の活動制限のガイドラインの対応レベルを2(一)に引き上げたところですが、現時点(回答時)での国内(特に京都府)の新型コロナウイルス感染状況に鑑みれば、対応レベルの引き上げ撤回のご要望にお応えすることはできません。

また、本学では、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用を受けて、対応レベルを変更しているのではなく、それらは一つの変更の要因としているものであり、全国及び京都府の感染状況を考慮しつつ、政府や自治体の通知、要請等を踏まえて、専門家の意見を聴いたうえで、本学の判断により対応レベルの変更を行っています。

したがって、今後の感染拡大状況等によっては、引き続き対応レベルの変更について

検討してまいりますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。